


クラス	C108	担当教員	吉田 直美
	テーマ	関わることでの学びと実践	
	著書・論文 研究課題等	『社会福祉士・精神保健福祉士 受験ワークブック 共通科目 2020』(共著) 中央法規出版 「ドウシテダレモタスケラレナクッタノカ？」日本福祉大学経済論集第 54 号 2017 年 3 月 「精神障害者・発達障害者の雇用の現状と課題」産業精神保健 2018 年 9 月 「西日本暴雨災害被災地調査報告と今後の課題 日本福祉大学経済論集 第 59 号 2019 年 3 月	

ゼミナール概要

【キーワード】コミュニケーション 地域 企画

【目的、内容、方法等】

◆専門演習 I～IVを通しての目的

「他者との関わり」を大切に、地域と「共生」することに向き合うことで、自分の果たすべき役割に気づき、自分なりの新しい生活環境をつくっていけるように努力すること。

◆専門演習 I～IVを通しての目標

1. 「聴く」「話す」「読む」「書く」の、基本的なコミュニケーション能力の向上を目指す。
2. 積極的に他者と関わり、地域と関わることで「現場」でのコミュニケーション能力を磨く。
3. 自分の関心事を明確にし、自分なりに考えた行動ができるようにする。

◆授業内容・方法

1. 1 分間スピーチ or レクチャー、フィードバックのトレーニングを適宜行う。
2. グループディスカッションを通じて合意形成のプロセスを学ぶ。
3. 東海キャンパスの周辺地域の探索、地域への理解を深めるために、具体的なテーマを決めての取材や収集したデータを整理し、分析する。
4. 地域を中心とした施設見学、イベント参加、ボランティア体験など、キャンパスから出て「現場体験」をし、そこから何を学んだことをプレゼンテーションし、皆で共有する。

*過年度の活動

*2020 年度は新型コロナウイルス感染予防の為、地域活動は制限され、東海市大学連携まちづくり推進事業で採択された企画（大幅変更）以外は実施できませんでした。

参考として過去の活動：学祭の子供向け企画、絵本の読み聞かせボランティア

バレーボール大会企画運営、東海市ものづくり道場に出店

東海市スポーツフェスティバルでのボランティア（夏休み）

東海市大学連携まちづくり推進事業の企画の実施

*行事は土日祭日に実施されることが多いため、準備も含めて、ゼミの正規の授業時間以外の時間の活動に参加可能であることが求められます。責任感がない人、グループ活動が苦痛な人、協調性のない人にとっては、ストレスを感じるゼミだと思えます。こんなはずじゃなかった・・・とならないために、面接時に「志望動機」と「ゼミで学びたいこと」について計 2000 字レポートの提出をお願いします。

【使用テキスト】

担当教員からのメッセージ

好奇心旺盛で協調性のある人、歓迎します。